

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核接触者検診・患者管理			事業番号	011-234
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全堺市民のうち結核に罹患した人及びその接触者 約1,000人	対象数	1,000	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	①治療終了後の患者が適切な時期に健診を受け、再発の早期発見を支援する。 ②接触者に対し、健診を実施し、発病前の潜在性結核感染症 (LTBI) 及び発病を早期に発見する。 ③患者の発生状況を国に報告することにより、全国的な結核対策に役立てる。 上記①②③により地域での結核のまん延を防止する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・患者家族及び接触者健診の実施 ① I G R A 検査 (結核菌の感染の有無についての血液検査) ②胸部エックス線検査等 (結核発病の有無についての検査) ・管理検診の実施 (治療終了後の患者に対する精密検査) ①胸部エックス線検査 ・患者管理の実施 ①喀痰塗抹陽性患者への面接 ②登録者情報システム等による患者管理				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市医師会 ほか				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	%	実績		目標	点検年度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
				目標値	18.0	15.6	15.0	13.0
				実績値	16.2	14.5		
	達成率	90%	93%					
	当該指標を選定した理由	本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したものの。						
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市結核対策評価会議を実施し、国の指針に基づき算定していたが、現時点で指針が示されていないため、実績より算定。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	%	実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
				目標値	98.0	98.0	98.0	
				実績値	97.8	96.3		
	達成率	100%	98%					
	当該指標を選定した理由	接触者に対し、早期に健診を行うことで結核患者の早期発見・まん延の防止を実現することができる。 年度中に前年度の実績を算出するため、実績値については、前年度の値を記載。						
	目標値の設定根拠・算出方法	前年の新規登録患者の接触者のうち2か月以内に実施した健診者数の割合。堺市結核対策評価会議を実施し、国の指針に基づき算定していたが、現時点で指針が示されていないため、実績より算定。						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	結核接触者検診・患者管理	事業番号	011-234
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	15,765	6,451	9,082	7,203	8,351
13 財源内訳	国支出金	2,983	2,861	2,052	2,599
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
一般財源	12,782	4,389	6,221	5,151	5,752
14 人件費 (b)	23,870	24,410	24,410	0	0
15 年間経費(c)=(a)+(b)	39,635	30,861	33,492	7,203	8,351

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	決算	1,506	756			R3	決算	429	325	
16 事業費内訳	患者家族及び接触者検診料	R4	予算	1,949	1,113	消耗品費	R4	予算	324	320	
		R3	決算	1,499	1,499		検診通知郵送料	R3	決算	116	84
	結核登録者情報システム保守委託料	R4	予算	1,499	1,499	R4		予算	151	137	
		R3	決算	1,137	639	エックス線画像診断システム保守委託料	R3	決算	132	132	
	R4	予算	1,325	751	R4		予算	132	132		
	I G R A s 検査委託料	R3	決算	671	333	モバイル端末機器使用料	R3	決算	86	86	
		R4	予算	969	506		R4	予算	148	148	
	検査等手数料	R3	決算	764	434	その他 (印刷製本費、備品撤去費用) R3年度のみ実施	R3	決算	863	863	
R4		予算	1,854	1,146	R4		予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
	① 接触者健診受診者数	人	776
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,804	2,827
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,613	5,964

備考 (算出についての説明等) 接触者により受ける検査内容・費用単価が異なるが、全検査の受診延べ人数を参考に計上。

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>接触者健診受診率が、目標値を達成できていないが、高い受診率でしっかりと検診勧奨が行えていることが分かる。このことにより、結核患者の早期発見、まん延防止につながっていると考えられる。</p> <p>(接触者健診及び患者管理検診は患者により方法が異なること、前年度新規登録患者を引き続き対象とすることから、費用対効果の算出はそぐわないため、達成率から評価する。)</p>
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>新登録喀痰塗抹陽性患者に対し、感染症法第19条に基づく応急入院後3日以内の面接実施を徹底することができた。令和元年度に実施した厚生労働省による公衆衛生関係事務指導監査において確認を行って以降、確実に実施できている。</p> <p>接触者に対する健診についても、直近数年は高い受診率を維持できている。コロナウイルス感染症の影響により医療機関もひっ迫しており受診の調整が難航するケースも考えられるため、引き続き実施協力医療機関を増やすなど接触者検診受診の利便性を高めるための体制の強化は必要である。</p>
----	--